

「数値」「通貨」「会計」のまとめ～入力できる書式：表示桁数編

これまで「数値」「通貨」「会計」の紹介をしてきました。それぞれの分類を選択するだけで、簡単に設定できます。
また、分類の「ユーザー定義」の中には、**あらかじめ書式記号が組み合わせられた、サンプル書式が複数存在します**ので実際に設定を切り替えてみて、使いやすい設定を探してみるのも良いでしょう。

個々の書式記号の活用方法に慣れてきたら、オリジナルの書式設定を「ユーザー定義」で作ってみてはいかがでしょうか？
(ユーザー定義については、次項で触れていきます)

書式記号	説明
1 " "	" "で囲まれた文字を表示
2 #	1桁の数字を表示します。 #の数だけ桁数が指定されます。 #を使うと、余計な0は表示されません。
3 0	1桁の数字を表示します。 0の数だけ桁数が指定されます。 0を使うと、指定した桁数だけ常に0が表示されます。
4 ?	桁数の異なる複数の小数の小数点を揃えて表示します。 固定幅フォントで数値の小数点を揃えるために、 整数部分と小数部の余分なゼロがスペースで表示されます。
5 ,	数値の桁を区切る書式記号です。 #, ###とすると1000→1,000となります また、1000単位の区切り記号としても機能します。

【桁数のルール】

指定した書式記号の桁数よりも、入力した整数の位の桁数が多い場合。

「すべての整数の位が表示されます」

小数の位に指定した書式記号の桁数よりも、入力した小数の位の桁数が多い場合。

「書式記号で設定した桁数に合わせて、小数の位の桁数が四捨五入されます」

ユーザー定義で設定したオリジナルの書式設定

設定された書式	入力値	実際の表示
####.#	1234.56	→ 1234.6
#.0000	1234.56	→ 1234.5600
0. #	0.123	→ 0.1
#.0 #	12	→ 12.0
#.0 #	1234.567	→ 1234.57

設定された書式	入力値	実際の表示
#, ###	12000	→ 12,000
#,	12000	→ 12
0.0, ,	12200000	→ 12.2

<単位：千>など注釈をいれるのがベター